

令和4年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	68
実施計画事業名	コミュニティ活動の推進		担当部署名	市民活動推進課
事業の実施目的 及び概要	市と町内会等の相互協力関係を推進し、行政運営の円滑化及び地域社会における住民自治の振興を図るため、コミュニティ活動を支援するとともに、町内会活動等への参加の場を確保するため、活動拠点となる集会施設の整備を促進します。 また、市民相互の理解を深め、より強い絆を持った地域づくりを推進するため、市内4館のコミュニティセンターにおいて、コミュニティの醸成事業を行い、地域コミュニティの充実を図ります。			
関連施策	【5-1】 市政への参加と地域活動の推進	根拠法令 関連計画	印西市行政協力交付金交付要綱、印西市町内会等活動費補助金交付要綱、印西市町内会等地区連絡会活動費補助金交付要綱、印西市コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例、印西市青年館の設置及び管理に関する条例、同施行規則、印西市集会所の設置及び管理に関する条例、同施行規則、印西市構造改善センターの設置及び管理に関する条例、同施行規則、印西市集会施設整備事業補助金交付要綱	
取組方針	コミュニティ活動の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第2次実施計画)

単位:千円

	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・町内会等の活動助成 ・町内会等の設立に向けた団体への資料提供 ・町内会等への加入促進の広報活動 ・地区集会所の建設費又は修繕費の助成 ・青年館用地買収 ・指定管理者によるコミュニティセンターの管理運営	・町内会等の活動助成 ・町内会等の設立に向けた団体への資料提供 ・町内会等への加入促進の広報活動 ・地区集会所の建設費又は修繕費の助成 ・青年館用地買収 ・指定管理者によるコミュニティセンターの管理運営	・町内会等の活動助成 ・町内会等の設立に向けた団体への資料提供 ・町内会等への加入促進の広報活動 ・地区集会所の建設費又は修繕費の助成 ・指定管理者によるコミュニティセンターの管理運営 ・コミュニティセンターの大規模修繕詳細設計(永治プラザ)
事業費	174,850千円	244,000千円	243,000千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	2-1-12	自治振興費	町内会等に要する経費
	2-1-12	自治振興費	町内会地区集会所等に要する経費
	2-1-12	自治振興費	コミュニティセンターの管理運営に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和4年度の 事業実績・成果	行政協力交付金、町内会等活動費補助金、町内会等地区連絡会補助金を交付し、円滑な行政運営及び町内会活動等の活性化を図った。 また、印西市町内会自治会連合会作成の町内会加入促進パンフレットを活用し、町内会等への加入促進を図った。 町内会等へ集会施設整備事業補助金を交付し、町内会等が管理する集会施設の整備、充実を図った。 しかしながら、新型コロナの影響により、町内会等において集会施設の新築に関する意見合意形成が困難であったこと等から、1件の取り下げがあった。 4館あるコミュニティセンター(指定管理)において市民向けの講座等を実施するとともに、地域の団体の活動などの場を提供し、地域コミュニティの活性化を図った。	当初予算	174,850,000円
		予算現額	164,633,000円
		決算額	143,090,109円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	町内会等への加入促進の広報活動	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3			
	集会施設の新設、改築、修繕に対する補助	箇所	目標値	11	11	11	11	11
			実績値	10	11			
	コミュニティセンター講座等事業数	回	目標値	185	187	189	191	193
			実績値	83	147			
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	町内会等組織数(累計)	団体	目標値	192	194	196	198	200
			実績値	194	195			
	集会施設数	箇所	目標値	153	154	155	156	157
			実績値	151	150			
	コミュニティセンター利用者数	人	目標値	100,000	100,500	101,000	101,500	102,000
			実績値	46,034	66,890			
	コミュニティセンター登録団体数	団体	目標値	310	310	310	320	320
			実績値	228	226			
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	町内会等への補助金等による各種経費負担等の支援や、協力関係の維持に引き続き努めていく。 コミュニティセンターは地域コミュニティの拠点の1つとして機能していると考える。指定管理者は利用者ニーズに合わせた事業を実施する等の施設の活用を図る努力をしており、今後も地域コミュニティの活性化を図るために事業を継続していく。

令和4年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	69
実施計画事業名	市民の主体的な活動の支援	担当部署名	市民活動推進課	
事業の実施目的 及び概要	市民活動の推進及び活性化を図るため、活動を行うために必要な「場」「資金」「情報」「交流」等に関する様々な支援策を実施します。			
関連施策	【5-1】 市政への参加と地域活動の推進	根拠法令 関連計画	印西市市民活動推進条例 印西市市民活動支援センターの設置及び管理に関する条例 同施行規則 市民活動団体（NPO等）との協働を進めるためのガイドライン	
取組方針	市民の主体的な活動の支援			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第2次実施計画)				単位:千円
	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・指定管理者による市民活動支援センターの管理運営 ・市民活動に関する情報の収集及び提供 ・協働事業の推進 ・公益信託印西市まちづくりファンド事業の支援	・指定管理者による市民活動支援センターの管理運営 ・市民活動に関する情報の収集及び提供 ・協働事業の推進 ・公益信託印西市まちづくりファンド事業の支援	・指定管理者による市民活動支援センターの管理運営 ・次期市民活動支援センター指定管理者の指定 ・市民活動に関する情報の収集及び提供 ・協働事業の推進 ・公益信託印西市まちづくりファンド事業の支援 ・市民活動支援センター移転準備	
事業費	15,870千円	16,200千円	16,600千円	

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	2-1-12	自治振興費	市民活動支援事業

3. 事業実績等		単位:円	
令和4年度の 事業実績・成果	指定管理者による市民活動支援センターの管理運営、市民活動推進委員会の運営、市民活動に関する情報の収集・提供、企画提案型協働事業の実施、まちづくりファンドの実施等により、市民活動団体への支援や協働事業を推進し、市民活動の推進及び活性化を図った。	当初予算	15,870,000円
		予算現額	15,745,000円
		決算額	15,423,690円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値								
指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	市民活動推進委員会の開催数	回	目標値	9	7	7	7	7
			実績値	6	6			
	市民活動支援センター年間利用者数	人	目標値	10,000	10,000	10,500	10,500	11,000
			実績値	7,460	9,307			
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	協働事業の実施件数	件	目標値	80	82	84	86	88
			実績値	83	87			
	市民活動支援センター登録団体数	団体	目標値	200	210	220	230	240
			実績値	199	219			
	まちづくりファンド実施件数	件	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	10	18			
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	魅力と活力のあるまちづくりのため、市民活動の推進や協働事業の活性化を図れるよう引き続き事業を継続していく。

令和4年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	70
実施計画事業名	市民参加意識の向上	担当部署名	市民活動推進課	
事業の実施目的 及び概要	市民が主体的に行政に関わるための基本的な事項を定めた市民参加条例により市民参加を推進し、魅力と活力のある地域社会の発展に寄与します。			
関連施策	【5-1】 市政への参加と地域活動の推進	根拠法令 関連計画	印西市市民参加条例 同施行規則	
取組方針	市民参加意識の向上			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第2次実施計画)				単位:千円
	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・市民参加推進委員会の開催 ・市民参加実施状況の公表 ・庁内への市民参加条例の周知 ・市政運営の過程における参加機 会の提供	・市民参加推進委員会の開催 ・市民参加実施状況の公表 ・庁内への市民参加条例の周知 ・市政運営の過程における参加機 会の提供	・市民参加推進委員会の開催 ・市民参加実施状況の公表 ・庁内への市民参加条例の周知 ・市政運営の過程における参加機 会の提供	
事業費	210千円	158千円	210千円	

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	2-1-6	企画費	市民参加推進事業

3. 事業実績等			単位:円
令和4年度の 事業実績・成果	・市民参加推進委員会の開催1回 ・市民参加実施状況及び実施予定の公表 ・市民との協働及び市民参加に関する職員研修1回	当初予算	210,000円
		予算現額	210,000円
		決算額	45,500円
		翌年度 繰越額	—

4. 指標及び実績値								
指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	市民参加推進委員会の開催	回	目標値	1	2	1	2	1
			実績値	1	1			
	市民参加実施状況の公表	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1			
	庁内へ市民参加手続きの周知	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2	2			
			目標値					
			実績値					
成果指標	公募市民が委嘱されている審議会等の数	件	目標値	35	35	35	35	35
			実績値	26	26			
	公募可の審議会等における公募委員の割合	%	目標値	25	25	25	25	25
			実績値	14	14			
	市民意見公募手続の平均応募件数	件	目標値	10	10	10	10	10
			実績値	7	7			
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	公募委員が委嘱されている審議会等の数や、公募可の審議会等における公募委員の割合等が目標値に届かなかった。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	審議会等に対する市民の関心を高めるための情報発信の機会を増やしていく必要がある。

6. 今後の方向性	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	市民が行政に興味をもっていただき、率直な意見をいただけるよう、わかりやすい情報の提供・収集方法の工夫に努めていく。

令和4年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	71
実施計画事業名	人権尊重の推進と 男女共同参画社会の実現に向けた取組	担当部署名	市民活動推進課	
事業の実施目的 及び概要	市民一人ひとりが、互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらずその個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現のために、人権尊重と男女共同参画意識の醸成を図るとともに、多様な生き方を実現するための環境整備や、誰もがいかなる差別や暴力を受けることなく安心して安全に暮らせるための取組等を、男女共同参画プランに基づき総合的に推進します。 また、すべての人々の人権が尊重され、相互に共存し得る平和で豊かな社会を実現するため、人権擁護委員と連携を図り、人権教育や啓発講座などの人権擁護活動を総合的に推進します。			
関連施策	【5-2】 人権尊重と男女共同参画社会の実現	根拠法令 関連計画	男女共同参画社会基本法、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律、印西市男女共同参画プラン、人権教育及び人権啓発の推進に関する法律、人権擁護委員法	
取組方針	男女共同参画社会の実現に向けた 取組の推進/人権尊重の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第2次実施計画)

単位:千円

	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・男女共同参画プランの進行管理 ・主催事業の実施 ・啓発資料の掲示及び配布 ・情報紙の発行 ・男女共同参画推進懇話会の開催 ・印西市男女共同参画社会づくりに 向けての市民意識調査の実施(第4 次男女共同参画プランの策定準備) ・人権啓発事業の実施	・男女共同参画プランの進行管理 ・主催事業の実施 ・啓発資料の掲示及び配布 ・情報紙の発行 ・男女共同参画推進委員会の開催 ・第4次男女共同参画プランの策定 ・人権啓発事業の実施	・男女共同参画プランの進行管理 ・主催事業の実施 ・啓発資料の掲示及び配布 ・情報紙の発行 ・男女共同参画推進委員会の開催 ・男女共同参画センター準備 ・人権啓発事業の実施
事業費	3,815千円	4,695千円	1,285千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	2-1-6	企画費	男女共同参画推進事業
	2-1-6	企画費	人権擁護に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和4年度の 事業実績・成果	市の男女共同参画推進のため、各種事業の開催、情報紙の発行、ホームページやTwitterによる情報発信をし、市民への啓発を図った。 令和4年度は、ワークショップや参加者体験型の講座を企画したため、すべて対面式で行った。対面式かオンライン形式が適しているのか、講座の内容と参加のしやすさなどを考慮しながら、引き続き講座を実施していく。また、第4次男女共同参画プランの策定に向けて市民、市内事業所、市内小中学校に対し「男女共同参画社会づくりに向けての意識調査」を実施した。人権擁護委員と連携を図り、啓発活動や市内小・中学校(小学校15校、中学校6校)で人権教室を実施した。啓発事業では、啓発物資の配布や、「人権問題」とされるセクハラやパワハラについて理解し、より良い人間関係の構築を目的とした職員研修「公務と人権」を実施した。	当初予算	3,815,000円
		予算現額	3,815,000円
		決算額	3,231,718円
		翌年度繰越額	—

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	講座等の開催数	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	6	8			
	情報紙の発行回数	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2	3			
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	講座等の参加者数	人	目標値	190	190	190	190	190
			実績値	94	183			
	審議会等の女性委員比率	%	目標値	30	30	30	30	30
			実績値	29	30			
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	講座実施のほか、4月には「若年層の性暴力被害予防月間」では街頭啓発を実施できた。講座の内容によって開催形式の工夫は必要だと考えるが、令和4年度はオンライン形式にこだわらず企画を進めることができた点大きい。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	「男女共同参画」をメインに押し出した企画は集客が難しい点があり、「防災」や「子育て」といった関連した要素と組み合わせ企画をした。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	引き続き講座内容や形式を柔軟に実施できるよう検討し、啓発を進めていく。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	新型コロナウイルス感染症の影響が大きかった令和3年度、そして対面式で講座を実施できた令和4年度の経験を踏まえ、事業を実施していく。

令和4年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	72
実施計画事業名	相談支援体制の充実	担当部署名	子育て支援課	
事業の実施目的 及び概要	○関係機関との連携を通して相談事業の実施や適切な情報提供などを行い、悩みを抱える女性やDV（配偶者など暴力）被害者を支援していきます。 ○相談者が安全に安心して相談できるよう体制を整備するとともに、専門的知識や経験を有する人材の確保に努めます。			
関連施策	【5-2】 人権尊重と男女共同参画社会の実現	根拠法令 関連計画	配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律 印西市男女共同参画プラン	
取組方針	相談支援体制の充実			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第2次実施計画)

単位:千円

	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・女性の悩み相談の実施 ・DV被害者の緊急避難の際の金銭的支援 ・関係各課、県女性サポートセンター、警察署、民間施設との連携強化	・女性の悩み相談の実施 ・DV被害者の緊急避難の際の金銭的支援 ・関係各課、県女性サポートセンター、警察署、民間施設との連携強化	・女性の悩み相談の実施 ・DV被害者の緊急避難の際の金銭的支援 ・関係各課、県女性サポートセンター、警察署、民間施設との連携強化
事業費	570千円	574千円	574千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	3-1-1	社会福祉総務費	女性の悩み相談事業
	3-1-1	社会福祉総務費	DV被害者支援事業

3. 事業実績等

単位:円

令和4年度の 事業実績・成果	DV被害者やその他の悩みを抱える女性に対し、関係機関と連携を図りながら適切な支援が出来るよう努めた。 緊急避難のための支援金:実績なし	当初予算	570,000円
		予算現額	570,000円
		決算額	528,000円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	女性の悩み相談周知回数	回	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	12	12			
	女性の悩み相談日数	日	目標値	24	24	24	24	24
			実績値	24	24			
	DV被害者支援周知回数	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1			
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	女性の悩み相談者数	人	目標値	120	120	120	120	120
			実績値	69	54			
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	目標値に対して実績が少なかったため。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	目標が達成できなかったため。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	広報、ホームページ及び個別の相談時等で、相談窓口の周知を図り、月2回(第1、3木曜日)女性の悩み相談を実施することにより、女性が抱える様々な悩みに対して、解消へと繋がるような支援を行っていく。

令和4年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	73
実施計画事業名	電子行政の推進		担当部署名	DX推進課
事業の実施目的及び概要	ICT分野における技術革新や環境の変化に柔軟に対応しながら、市民生活が向上するよう電子申請手続きやキャッシュレス決済の拡充などデジタル・トランスフォーメーションに取り組むとともに、並行してデジタルデバ イド対策を講じ、市民の利便性向上に努めます。また、庁内の情報機器などの配備・更新を進めて、高い情報 セキュリティ水準を維持しながら、業務の安定稼働が図れるよう取り組みます。			
関連施策	【5-3】 行政の電子化・情報化の推進	根拠法令 関連計画	印西市DX推進方針	
取組方針	ICTの活用などによる効率的な行政運営 /電子行政の推進			
総合戦略	基本目標②新しいひとの流れをつくる 基本目標④ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力 的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第2次実施計画)

単位:千円

	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・職員向け研修(セキュリティ、GIS等)の実施 ・電子申請手続き、ぴったりサービスの推進 ・公共施設予約システムの安定稼働 ・パソコン更新 ・複合機更新 ・タブレット端末導入 ・統合型及び市民公開型地理情報システムの更新 ・LINE公式アカウントと電子申請システムとの連携機能導入 ・RPA等の導入拡大に向けての検討 ・キャッシュレス決済導入拡大に向けての検討 ・デジタルデバイド対策の実施	・職員向け研修(セキュリティ、GIS等)の実施 ・電子申請手続き、ぴったりサービスの推進 ・公共施設予約システムの安定稼働 ・パソコン更新 ・複合機更新 ・住民情報系プリンタ更新 ・RPA等の導入拡大に向けての検討 ・キャッシュレス決済導入拡大に向けての検討 ・デジタルデバイド対策の実施	・職員向け研修(セキュリティ、GIS等)の実施 ・電子申請手続き、ぴったりサービスの推進 ・公共施設予約システムの安定稼働 ・パソコン更新 ・複合機更新 ・RPA等の導入拡大に向けての検討 ・キャッシュレス決済導入拡大に向けての検討 ・デジタルデバイド対策の実施
事業費	327,285千円	325,794千円	325,794千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	2-1-11	電子計算費	電子行政推進に要する経費
	2-1-11	電子計算費	情報基盤整備に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和4年度の 事業実績・成果	■職員向け研修 電子申請研修8/9(35人)、情報モラル講座12/21(33人)、365研修3/9～(動画35人)、ipad研修6/22～(191人)、GIS操作研修9/8(82人) ■電子申請手続き、ぴったりサービスの推進 電子申請手続き(167手続き)、ぴったりサービス(30手続き) イベント募集手続きが大幅に増加 ■デジタル田園都市国家構想推進交付金を活用し、市民協働投稿サービス、AIチャットボットのホームページへの実装を行った。 ■タブレット端末(ipad)を管理職と各係に1台配布(総数260台)、統合型及び市民公開型地理情報システムの更新、LINE公式アカウントの見直しと電子申請システムとの連携機能導入、RPA等の導入拡大、キャッシュレス決済導入拡大 ■デジタルデバイド対策として市民向けスマホ講座を3回実施 ■CIO補佐官の登用	当初予算	327,285,000円
		予算現額	311,687,000円
		決算額	306,641,778円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	職員向け研修	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2	5			
	公共施設予約システムの停止を伴う定期メンテナンス	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2	2			
	電子申請手続き、ぴったりサービスの手續数	手續	目標値	37	39	41	43	45
			実績値	103	197			
成果指標	パソコン更新	台	目標値	240	250	440	150	—
			実績値	244	273			
	WEB会議用パソコン購入・更新	台	目標値	5	5	—	—	3
			実績値	5	0			
	職員向け研修参加者数	延べ人数	目標値	50	100	150	200	250
			実績値	145	376			
	公共施設予約システムの安定稼働率	%	目標値	99	99	99	99	99
			実績値	100	100			
	パソコン更新率	%	目標値	100	100	100	100	—
			実績値	100	100			
	WEB会議用パソコン貸出	延べ台数	目標値	160	320	480	640	800
			実績値	982	789			
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	web会議用パソコンは、タブレット端末を導入したことから購入しなかった。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	タブレット端末を配布したことでWEB会議用パソコンの貸出は減少した。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	デジタル田園都市国家構想推進交付金を活用し、市民の利便性向上につながる事業を実施することができた。デジタル化を積極的に推進するため令和5年1月からCIO補佐官を登用した。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	更なる電子行政の推進を図るため、第3次実施計画から指標を一部見直して実施していく。市民が自宅で、市役所窓口が開いていない時間帯でも手続きが完了できる体制を構築するため、職員及び市民の情報リテラシーを向上させていく。

令和4年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	74
実施計画事業名	時代に即した情報発信	担当部署名	秘書広報課	
事業の実施目的 及び概要	市政情報や地域の出来事、まちの魅力などを幅広く発信することを目的に、市ホームページや広報紙については必要に応じて見直しを図るとともに、SNSや動画など、時代に即した情報発信手段の活用を図ります。			
関連施策	【5-3】行政の電子化・情報化の推進	根拠法令 関連計画	印西市広報広聴規則 印西市広報レポーター設置要綱 印西市DX推進方針 印西市市政情報の公表及び提供の積極的な推進に関する要綱	
取組方針	時代に即した情報発信			
総合戦略	基本目標②新しいひとの流れをつくる 基本目標④ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第2次実施計画)

単位:千円

	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・広報紙の発行(月2回) ・広報紙の新聞折込、郵送、戸別投函による配付及び各公共施設・駅などへの配置 ・ホームページ、SNS、動画による情報発信 ・ホームページ管理システム操作研修を実施し内容の充実を図る	・広報紙の発行(月2回) ・広報紙の新聞折込、郵送、戸別投函による配付及び各公共施設・駅などへの配置 ・ホームページ、SNS、動画による情報発信 ・ホームページ管理システム操作研修を実施し内容の充実を図る	・広報紙の発行(月2回) ・広報紙の新聞折込、郵送、戸別投函による配付及び各公共施設・駅などへの配置 ・ホームページ、SNS、動画による情報発信 ・ホームページのリニューアル ・ホームページ管理システム操作研修を実施し内容の充実を図る
事業費	31,913千円	31,890千円	36,890千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	2-1-2	文書広報費	広報活動に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和4年度の 事業実績・成果	【広報紙発行】 ・外部委託により、レイアウト、デザイン、図表等の作成に専門技術を取り入れ、分かりやすく読みやすい紙面編集に努めた。 ・市民の視点を取り入れるため、広報レポーターによる取材記事を掲載し、市の住み良さや魅力を紹介した。 ・新聞未購読世帯へは戸別投函や郵送による配布を行うとともに、駅や郵便局などへも配置を行った。 ・スマートフォンアプリによる広報紙の配信及び周知に努めた。 【ホームページ等】 ・インターネットが持つ即時性を活かし、積極的な情報発信に努めた。 ・ホームページ操作研修を実施し、適切なコンテンツ作成、アクセシビリティの確保について周知を図った。	当初予算	31,913,000円
		予算現額	31,913,000円
		決算額	28,440,651円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	広報紙発行回数	回	目標値	24	24	24	24	24
			実績値	24	24			
	ホームページコンテンツ数	件	目標値	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500
			実績値	4,418	4,568			
	市公式ツイッター発信件数	件	目標値	50	55	60	65	70
			実績値	442	443			
	マスコミへの情報提供数	件	目標値	60	65	70	75	80
			実績値	113	85			
成果指標	広報紙発行部数	部	目標値	29,000	28,900	28,800	28,700	28,600
			実績値	27,300	25,600			
	広報紙自動配信アプリ登録件数	件	目標値	2,900	3,000	3,100	3,200	3,300
			実績値	3,998	5,409			
	市公式ツイッターフォロワー数	件	目標値	3,700	3,800	3,900	4,000	4,100
			実績値	4,928	5,463			
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	ホームページ内のコンテンツ内容を分かりやすく整理する。また、市公式ツイッターについても引き続き積極的に活用していく。
②成果に対する評価	A 目標値を上回る	広報紙自動配信アプリの登録件数や市公式ツイッターのフォロワー数を増やすためにも、広報紙などを使い啓発していく。
③総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	広報紙やSNSなど、複数の手段を使い、時代に即した情報発信をしていく。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	広報紙と市ホームページの掲載内容については必要に応じ見直しを図り、また、市公式ツイッターと市公式ラインについても発信内容を拡大するなどし、引き続き積極的な情報発信に努めていく。

令和4年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

			事業番号	75
実施計画事業名	窓口サービスなどの充実		担当部署名	市民課、納税課、 国保年金課
事業の実施目的 及び概要	感染症の拡大防止に伴う新しい生活様式に対応するなど、市民ニーズに応じた手続きしやすい窓口サービスを提供するとともに、各種証明書交付の利便性向上を図るため、マイナンバーカードを利用したコンビニ等での証明書交付サービスを促進します。 また、これまで提供してきたコンビニ納付や土曜開庁、中央駅前出張所でのサービスを継続させるほか、窓口の民間委託化や統合化を進め、効率的な窓口サービス体制の構築を図るとともに、市税など公金の納付機会の更なる充実に努めます。			
関連施策	【5-4】 市民サービスの充実	根拠法令 関連計画	第6次行政改革実施計画 印西市DX推進方針	
取組方針	窓口サービスなどの充実			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第2次実施計画)

単位:千円

	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・市民課、国保年金課、中央駅前出張所窓口の業務委託の実施 ・マイナンバーカードの利用促進 ・出張所機能の見直しの検討・実施 ・コンビニ・マルチペイメント等での収納業務の継続 ・新たな納付環境の情報収集	・市民課、国保年金課、中央駅前出張所窓口の業務委託の実施 ・マイナンバーカードの利用促進 ・出張所機能の見直しの検討・実施 ・コンビニ・マルチペイメント等での収納業務の継続 ・新たな納付環境の情報収集	・市民課、国保年金課、中央駅前出張所窓口の業務委託の実施 ・マイナンバーカードの利用促進 ・出張所機能の見直しの検討・実施 ・コンビニ・マルチペイメント等での収納業務の継続 ・新たな納付環境の情報収集
事業費	165,643千円	166,518千円	166,518千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	2-1-10	出張所費	中央駅前出張所事務に要する経費
	2-3-1	戸籍住民基本台帳費	窓口事務に要する経費
	3-1-3	国民健康保険費	国保窓口業務委託に要する経費
	3-5-1	国民年金総務費	国民年金事務に要する経費
	4-1-1	保険衛生総務費	後期窓口業務委託に要する経費
	【国民健康保険特別会計】		
	1-1-1	一般管理費	一般管理事務に要する経費
	1-2-1	賦課徴收費	賦課徴収に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和4年度の 事業実績・成果	・市民課、国保年金課、中央駅前出張所窓口の業務委託の実施 ・マイナンバーカードの利用促進 ・出張所機能の見直しの検討 ・多様な方法による市税等の収納業務の実施 ・コンビニ、マルチペイメントでの収納業務を継続実施	当初予算	165,643,000円
		予算現額	164,139,000円
		決算額	159,960,336円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	市税における納付方法等の周知(広報、HP)	回	目標値	17	17	17	17	17
			実績値	23	21			
	マイナンバーカード利用促進のための周知	種類	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	6	5			
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	市税の収納率	%	目標値	94.5	94.7	94.9	95.0	95.0
			実績値	95.4	95.8			
	コンビニ等での証明書(住民票・印鑑証明書)交付割合	%	目標値	6	8	10	12	14
			実績値	11	17.4			
	国保口座振替実施率	%	目標値	30.0	30.5	31.0	31.5	32.0
			実績値	26.3	26.7			
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	マイナンバーカードの利用促進をしていく。 新たな納付環境の情報収集及び国保口座振替の実施率の向上に努めていく。

令和4年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	76
実施計画事業名	市民相談の実施	担当部署名	市民活動推進課 秘書広報課	
事業の実施目的 及び概要	日常生活における悩みや問題について相談を希望する市民に対し、専門的な知識や経験を有する相談員から、相談者が自ら解決するための助言及び他の相談機関の情報を受ける機会を提供することを通じて、市民生活の向上に資することを目的とし、法律相談や市民生活相談などを実施します。			
関連施策	【5-4】 市民サービスの充実	根拠法令 関連計画	人権擁護委員法 行政相談員法	
取組方針	各種相談の実施			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第2次実施計画)

単位:千円

	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・法律相談の実施(月3回) ・市民生活相談(司法書士)の実施(月1回) ・市民生活相談(税理士)の実施(月1回) ・人権よろず相談の実施(月1回) ・行政相談の実施(月1回)	・法律相談の実施(月3回) ・市民生活相談(司法書士)の実施(月1回) ・市民生活相談(税理士)の実施(月1回) ・人権よろず相談の実施(月1回) ・行政相談の実施(月1回)	・法律相談の実施(月3回) ・市民生活相談(司法書士)の実施(月1回) ・市民生活相談(税理士)の実施(月1回) ・人権よろず相談の実施(月1回) ・行政相談の実施(月1回) ・市民相談センター準備
事業費	2,140千円	2,140千円	2,140千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	2-1-1	一般管理費	市民相談事業に要する経費
	2-1-1	一般管理費	行政相談事業に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和4年度の 事業実績・成果	令和3年度に引き続き、相談会場では窓の換気、相談室のアルコール消毒、相談者と相談員の間にパーテーションを置くなど、新型コロナウイルス感染症予防対策を行った。相談者にも予約受付の際マスクの着用と検温のお願いをし、相談日当日に体調チェックシートを記入していただくなど、相談者にも協力をお願いしたことで、相談員、相談者ともに安心して相談することができた。 対面での相談が心配な方には、予防対策の説明、他機関を紹介するなど、相談者の意向に沿ったご案内をした。	当初予算	2,140,000円
		予算現額	2,140,000円
		決算額	2,096,719円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	法律相談毎月実施	回	目標値	36	36	36	36	36
			実績値	36	36			
	市民生活相談(司法書士)毎月実施	回	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	12	12			
	市民生活相談(税理士)毎月実施	回	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	12	12			
			目標値					
			実績値					
成果指標	法律相談の利用者数(年間)	人	目標値	260	288	288	288	260
			実績値	270	271			
	市民生活相談(司法書士)の利用者数(年間)	人	目標値	58	72	72	72	72
			実績値	70	68			
	市民生活相談(税理士)の利用者数(年間)	人	目標値	58	72	72	72	72
			実績値	63	68			
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症予防対策を行いつつ、予定回数通り実施することができた。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症予防対策を講じると共に、相談者にも予防対策の協力をお願いした。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	新型コロナウイルス感染症予防対策を講じつつ、実施することができた。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	令和5年度ではマスクの着用は個人の判断とするが、会場設営においては相談員と相談者の間に飛沫防止のパーテーションの設置と窓の換気については引き続き行い、事業を継続して実施していく。

令和4年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	77
実施計画事業名	情報公開制度の適正な運用	担当部署名	総務課	
事業の実施目的 及び概要	情報公開制度の適正な運用に努めるとともに、公文書の適正な管理を行い、市民への情報公開・情報提供を積極的に推進します。また、市民への積極的な情報提供を行うための手段である行政資料コーナー（行政資料室）の整備やホームページへの掲載に努めます。			
関連施策	【5-4】 市民サービスの充実	根拠法令 関連計画	印西市情報公開条例	
取組方針	情報公開制度の適正な運用			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第2次実施計画)				単位:千円
	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・市民への情報の公表・提供の推進を図るためのホームページの活用及び行政資料コーナーの充実 ・文書ファイリングシステムに係る実地点検の実施による職員の文書管理に対する意識向上の促進	・市民への情報の公表・提供の推進を図るためのホームページの活用及び行政資料コーナーの充実 ・文書ファイリングシステムに係る実地点検の実施による職員の文書管理に対する意識向上の促進	・市民への情報の公表・提供の推進を図るためのホームページの活用及び行政資料コーナーの充実 ・文書ファイリングシステムに係る実地点検の実施による職員の文書管理に対する意識向上の促進	
事業費	3,854千円	3,854千円	3,854千円	

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	2-1-1	一般管理費	文書管理の推進事業
	2-1-1	一般管理費	情報公開に要する経費
	2-1-1	一般管理費	総務事務費

3. 事業実績等		単位:円	
令和4年度の 事業実績・成果	情報公開制度の適正な運用を行い、市民への情報の公表・提供の推進を図るため、ホームページの活用、行政資料コーナーの充実に努めた。また、文書ファイリングシステムについて抽出した3課を対象に実地点検を実施し、職員の文書管理に対する意識の高揚を図った。	当初予算	3,854,000円
		予算現額	3,997,000円
		決算額	3,175,382円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値								
指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	各課情報公表・提供の情報一覧の公表	回	目標値	4	4	4	4	4
			実績値	4	4			
	ファイリングの点検	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1			
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	市政情報の公表・提供数	件	目標値	1,316	1,374	1,432	1,490	1,548
			実績値	877	999			
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	各課等が公表・提供する市政情報の件数が前年度に比べ増加した。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	市政情報の公表及び提供の積極的な推進を図っていく。

6. 今後の方向性	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	引き続きホームページや行政資料コーナーを活用して、市民の関心の高い情報を積極的に提供していくこととする。また、既存施設を有効活用し、30年保存文書の保管場所の確保を継続して取り組んでいく。

令和4年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	78
実施計画事業名	事務事業の見直しと事務改善の推進	担当部署名	総務課	
事業の実施目的 及び概要	多様化する行政需要に対応した、将来にわたる持続可能な行政運営を図るため、第6次印西市行政改革大綱に基づき、BPR(業務改革)の手法やICTを活用した、事務事業の見直しや事務改善を推進します。			
関連施策	【5-5】 持続可能な行財政経営の実現	根拠法令 関連計画	第6次印西市行政改革大綱 第6次印西市行政改革実施計画	
取組方針	事務事業の見直しと事務改善の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第2次実施計画)

単位:千円

	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・RPA等の導入による事務改善推進 ・キャッシュレス決済の推進 ・行政手続きの押印見直し ・行政文書の電子決裁推進 ・行政診断(事務事業及び配置職員数)の実施 ※RPA…ロボティックプロセスオートメーション(Robotic Process Automation)、通称RPAは、これまで人間が行ってきた定型的な作業を、ソフトウェアのロボットにより自動化するもの	・RPA等の導入による事務改善推進 ・キャッシュレス決済の推進 ・行政手続きの押印見直し ・行政文書の電子決裁推進 ・行政診断に基づく改善策の実施	・RPA等の導入による事務改善推進 ・キャッシュレス決済の推進 ・行政手続きの押印見直し ・行政文書の電子決裁推進 ・行政診断に基づく改善策の実施
事業費	6,501千円	1,228千円	1,228千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	2-1-1	一般管理費	行政改革に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和4年度の 事業実績・成果	・キャッシュレス決済端末5台追加設置 印旛支所・本埜支所・中央駅前出張所・牧の原出張所・滝野出張所 ・キャッシュレス決済利用件数5,855件 ・RPA 4業務新規開始 検診予約申込書(健康増進課) 超過勤務者への周知メール配信(人事課) 健康診断未受診者へのメール配信(人事課) 出産・子育て応援給付金(子育て支援課・健康増進課) ・押印不要とした手続き1,067件 ・行政診断業務報告書の作成	当初予算	6,501,000円
		予算現額	6,501,000円
		決算額	5,715,540円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	キャッシュレス決済端末設置窓口数	台	目標値	—	9	9	9	9
			実績値	4	9			
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	キャッシュレス決済利用件数	件	目標値	1,500	1,900	2,400	2,400	2,400
			実績値	793	5,855			
	RPA利用事業数	件	目標値	2	3	5	5	5
			実績値	3	7			
	押印不要とした手続き数	件	目標値	240	720	960	1,200	1,200
			実績値	817	1,067			
	電子決裁化率(供覧・起案)	%	目標値	—	50	60	70	80
			実績値	—	12.6			
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	キャッシュレス端末を合計9台(庁内4台、出先5台)設置した。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	電子決裁化率が目標値を下回っているものの、キャッシュレス決済の件数、RPA利用事業数、押印不要とした手続き数については目標値を上回った。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	キャッシュレス決済やRPA導入を積極的に行い、行政サービスの向上及び事務の効率化を図ることが出来た。また、行政診断業務委託により、行政運営を最適化することを目的に全庁業務量調査を実施し、業務改善策や人員配置の適正化に向けた方向性について報告書を作成した。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	令和5年度はセミセルフレジの導入やキャッシュレス決済POS連動システムの導入を予定している。また、RPAについては、定型的かつ反復作業が発生する業務や、電子申請からの電子データとRPAを連動させた効果の検証を図り、業務の効率化や行政サービス向上を図っていく。行政診断報告書に基づく業務改善策や人員配置適正化の方向性について、関係各課と協議を図り実施していく。

令和4年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	79
実施計画事業名	職員の育成	担当部署名	人事課	
事業の実施目的 及び概要	専門的、実務的な知識の習得、政策形成、対人折衝、職務遂行等の能力向上を図り、系統立てた人材育成を推進することにより、社会情勢の変化や様々な行政課題に対応できる職員を育成し、組織としての総合力を高めていきます。			
関連施策	【5-5】持続可能な行財政経営の実現	根拠法令 関連計画	印西市職員人材育成基本方針	
取組方針	職員の育成			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第2次実施計画)

単位:千円

	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・階層研修・専門研修・特別研修・職場研修(OJT)等の実施 ・職階に応じた階層別の研修では、適切な時期に研修を実施する。 また各種研修メニューを全職員に紹介し、積極的に研修の参加を促す。	・階層研修・専門研修・特別研修・職場研修(OJT)等の実施 ・職階に応じた階層別の研修では、適切な時期に研修を実施する。 また各種研修メニューを全職員に紹介し、積極的に研修の参加を促す。	・階層研修・専門研修・特別研修・職場研修(OJT)等の実施 ・職階に応じた階層別の研修では、適切な時期に研修を実施する。 また各種研修メニューを全職員に紹介し、積極的に研修の参加を促す。
事業費	4,255千円	4,255千円	4,255千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	2-1-1	一般管理費	職員研修事業

3. 事業実績等

単位:円

令和4年度の 事業実績・成果	派遣研修・専門研修・特別研修・職場内研修(OJT)を実施した。 階層別研修では、経験年数の基準から職員を指定し、受講を実施した。 また、専門研修では、新型コロナウイルスの感染状況を注視しつつ、前年度以上の実施を見込み、結果的に研修数及び受講者数ともに増加した。 なお、職場内研修(OJT)については、前年度に比較して研修数及び受講者数ともに減少したが、実施計画事業全体としては、活動指標及び成果指標ともに目標値を上回ることができた。	当初予算	4,255,000円
		予算現額	4,208,000円
		決算額	1,360,525円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	研修数	講座	目標値	90	90	90	90	90
			実績値	105	96			
	うち、専門研修数	講座	目標値	40	40	40	40	40
			実績値	32	43			
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	階層研修参加者数	人	目標値	90	71	94	93	73
			実績値	78	75			
	専門研修参加者数	人	目標値	40	40	40	40	40
			実績値	38	47			
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	市人材育成基本方針に基づき、職員の能力向上を図るため、適切な時期及び受講内容を研究又は工夫をしながら、引き続き実施していく。

令和4年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	80
実施計画事業名	公共施設マネジメントの推進		担当部署名	資産経営課 生涯学習課
事業の実施目的 及び概要	公共施設の老朽化が進む中で、将来的には人口減少や少子高齢化の進行により、公共施設の更新などに充当できる財源を確保することが難しくなり、公共施設などを適正に維持することが困難になると予想されています。したがって、公共施設の更新などの費用負担を軽減するため、公共施設の集約化や複合化などに取り組み、公共施設保有量の縮減を図ります。 また、公共施設の維持管理費の縮減や管理運営の効率化を図るため、指定管理者制度の導入などの民間活用を推進するとともに、取り組みにより生じた公共施設跡地の売却や貸付などにより財源の確保に努めます。			
関連施策	【5-5】 持続可能な行財政経営の実現	根拠法令 関連計画	印西市公共施設等総合管理計画 印西市公共施設適正配置実施方針 印西市公共施設適正配置アクションプラン 印西市公共施設長寿命化計画 (仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設整備基本計画	
取組方針	公共施設マネジメントの推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第2次実施計画)

単位:千円			
	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・公共施設等総合管理計画及びアクションプランに基づく進捗管理 ・指定管理者制度の導入推進 ・(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設の設計、建設 ・印西市公共施設等総合管理計画の一部改訂	・公共施設等総合管理計画及びアクションプランに基づく進捗管理 ・指定管理者制度の導入推進 ・(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設の設計、建設	・公共施設等総合管理計画及びアクションプランに基づく進捗管理 ・指定管理者制度の導入推進 ・(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設の設計、建設
事業費	81,231千円	718,219千円	2,425,668千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	2-1-1	一般管理費	公共施設等の総合管理に要する経費
	2-1-1	一般管理費	(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設整備事業(総務費)
	9-5-4	公民館費	(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設整備事業(教育費)

3. 事業実績等

令和4年度の 事業実績・成果	・印西市公共施設等総合管理計画の一部改訂については、見直しを進めたが、令和5年度へ継続することとした。 ・印西市公共施設等総合管理計画及び印西市公共施設適正配置アクションプランの実施状況等については、所管課からヒアリング等を行い把握し、進捗管理に努めた。 ・指定管理者制度の導入については、指標としていた施設への新規導入を達成した。 ・(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設整備事業については、新施設整備等にかかる基本設計・実施設計が完了した。	当初予算	81,231,000円
		予算現額	133,070,000円
		決算額	133,043,783円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	進捗管理に関する施設所管課等ヒアリング	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1			
	印西市公共施設等総合管理計画の一部改訂	%	目標値	100	100	—	—	—
			実績値	75	90			
	(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設の民間事業者公募	回	目標値	1	—	—	—	—
			実績値	1	—			
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	公共施設の延床面積	㎡	目標値	R32年度までに307,446㎡(H26年度末時点)の34%を縮減する。				
			実績値					
	指定管理者制度の新規導入	施設	目標値	8	5	3	—	—
			実績値	8	5			
	(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設の整備	%	目標値	—	25	50	75	100
			実績値	—	25			
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	印西市公共施設等総合管理計画の一部改訂については、令和5年度中の実施を目途とした。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	指定管理者制度の新規導入は指標通り実施され、(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設の整備についても概ね計画通りに進められた。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	一部継続事業となったものもあるが、概ね適正に実施された。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	引き続き、公共施設等総合管理計画及びアクションプランの進捗管理、ならびに(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設整備事業の推進を図っていく。

令和4年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	81
実施計画事業名	公共施設の配置などの適正化の検討	担当部署名	企画政策課	
事業の実施目的 及び概要	現在の公共施設は主に平成22年の市村合併前の公共施設の配置が基本となっています。市域全体の公共施設のあり方について、人口の状況や市民ニーズに対応した公共施設の配置などについて検討を進めます。			
関連施策	【5-5】持続可能な行財政経営の実現	根拠法令 関連計画	印西市公共施設等総合管理計画	
取組方針	公共施設の配置などの適正化の検討			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第2次実施計画)				単位:千円
	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・関係部署との協議・調整 ・公共施設整備基本方針の策定	・公共施設整備基本方針に基づく進行管理	・公共施設整備基本方針に基づく進行管理	
事業費	—	—	—	

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)

3. 事業実績等			単位:円	
令和4年度の 事業実績・成果	市域全体の公共施設の在り方について、庁内検討組織などによる検討や市民意見公募を実施し、公共施設整備基本方針を策定した。また、本方針の推進にあたり、新たに印西市公共施設整備基本方針推進本部を設置した。 ・パブリックコメントの実施 16人から21件の意見 ・市議会への説明 1回 ・策定本部会 2回 ・策定本部幹事会 2回 ・関係各課との打ち合わせ等を随時実施 ・推進本部作業部会 2回	当初予算	—	
		予算現額	—	
		決算額	—	
		翌年度繰越額	—	

4. 指標及び実績値								
指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	庁内検討組織での検討	回	目標値	3	3	—	—	—
			実績値	6	6			
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	公共施設整備基本方針の策定	%	目標値	100	100	—	—	—
			実績値	80	100			
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	令和4年度中に策定した公共施設整備基本方針に則り、公共施設の配置などの適正化を推進していく。